

2022年2月4日

ハワイ州観光局

【ニュースリリース】

**ハワイ州産業経済開発観光局が 2021 年渡航者統計速報値を発表  
～ ハワイへの全渡航者数が 2019 年比で約 65%まで回復 ～**

ハワイ州観光局日本支局（所在地：東京都千代田区 支局長：ミツエ・ヴァーレイ）は、ハワイ州産業経済開発観光局（DBEDT）が現地時間 2022 年 1 月 27 日に発表した 2021 年の渡航者統計速報値について、ハワイ州への全渡航者と日本人渡航者に関する数値を取りまとめました。

2021 年のハワイ州への全渡航者数は 677 万 7,498 人で、2020 年の全渡航者数（270 万 8,258 人）の 2 倍以上になりました。2019 年の全渡航者数（1,038 万 6,673 人）と比較すると 34.7% の減少ですが、約 65%まで回復していることが伺えます。

2021 年全体の観光客の消費額は 130 億ドルとなり、2019 年の 177 億ドルと比較すると 26.6% の減少でしたが、米国西部からの観光客の消費額が 2019 年と比較すると 14.1%増加し、79.3 億ドルでした。また、1 日当たりの平均消費額は 199 ドルとなり、2019 年の 1 日当たりの平均消費額（196 ドル）に対して 1.4%増加しました。2021 年の渡航者の平均滞在日数は 9.64 日になり、2020 年の 10.58 日に対し減少しましたが、2019 年の渡航者の平均滞在日数 8.70 日と比較すると増加しました。

2021 年のハワイ州への日本人渡航者は 2 万 4,232 人で、そのうち 2 万 1,820 人が国際線を利用し、2,412 人が米国国内線を利用して訪問しました。2020 年の日本人渡航者数（28 万 9,137 人）と比較すると 91.6%の減少となり、2019 年の日本人渡航者数（157 万 6,205 人）と比較すると 98.5%の減少となりました。

2021 年の日本人渡航者の消費額は 8290 万ドルで、2019 年の日本人渡航者の消費額（22 億 5,000 万ドル）と比較すると 96.3%減少し、州の税収入は 967 万ドルでした。また、2021 年の日本人渡航者 1 日当たりの平均消費額は 218 ドルとなり、2019 年の日本人渡航者 1 日当たりの平均消費額（242 ドル）と比較すると減少しました。一方で 2021 年の平均滞在日数は 15.62 日となり、2020 年の 5.95 日に対し 2.6 倍以上になりました。その結果、2021 年の日本人渡航者一人当たりの消費額は 3419 ドルで、2019 年の日本人渡航者一人当たりの消費額（1426 ドル）と比較すると 2.4 倍になりました。

DBEDT が発表した 2021 年の渡航者統計速報値（英文ニュースリリース）

<https://www.hawaii tourism authority.org/media/8793/december-2021-visitor-statistics-press-release.pdf>

###

## ハワイ州観光局日本支局（Hawai'i Tourism Japan）

ハワイ州観光局日本支局は、ハワイ州の観光振興機関「ハワイ・ツーリズム・オーソリティ」から委託を請け、ホノルルと東京にオフィスを設置し、ハワイ州最大の国際マーケットである日本市場を対象に、ハワイのブランド価値を高めるためのマーケティング戦略を立案、デスティネーション・キャンペーン、広報活動、市場分析、パートナーシップ開発、教育プログラム構築など、日本の消費者、メディア、旅行業界、MICE 市場など広範囲にわたって信頼と共感を呼ぶ活動を実施しています。また、持続可能な観光を目指すために「マラマハワイ＝思いやる心」の概念を啓蒙し、ハワイの自然保全と文化継承に繋がるプログラムの開発を促進して旅行体験の多様化を目指し、日本とハワイの交流を深める活動も支援しています。公式ポータルサイト：<https://www.allhawaii.jp>

本件に関する報道関係者からの問い合わせ先

ハワイ州観光局 広報チーム [prhtj@htjapan.jp](mailto:prhtj@htjapan.jp)